

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	在宅障害児者施設利用推進事業		事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	3年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市障害児者施設利用推進事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
知的障害児者施設の有する専門機能を活用したデイサービス事業(日中に、身体機能の維持向上及び在宅生活継続に必要な援護を行う事業)を実施することにより、在宅の障害児者を支援する。		在宅の知的障害児者	
		対象数	2,007人(H14.4.1在宅知的障害者数)
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
実施施設3施設 神奈川ワークショップ (528,000円) 利用者数1名 延べ88日 秦野精華園 (705,000円) 利用者数1名 延べ235日 ワークショップ・フレンド(1,821,980円) 利用者数8名 延べ301日		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度
		なし	

4 評価指標

指標名	施設利用推進事業利用率		
指標式	利用者数(実績)/利用希望者数(待機者を含む見込)		
指標設定の意図	利用を希望する者が、利用できているかどうか把握するため		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,143	1,096	3,055	7,606	11,424
	人員・時間数	48H	48H	80H	80H	84H
	人件費	200	200	334	334	351
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,343	1,296	3,389	7,940	11,775
特定財源	1,296	424	1,167	3,432	5,292	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 待機者がいなかったため。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 重度だけではなく、中軽度の知的障害者も対象とすることで、更なる知的障害者の社会参加の促進を図ることが出来る。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 県の実綱で定められた基準単価で実施している。民間事業者がサービスを提供することにより、より柔軟な、質の高いサービスの提供ができており、効果を上げている。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 事業の性質上、市で実施することが妥当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 利用者の社会参加促進につながっている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 在宅の知的障害児者が、措置による通所サービスを利用希望しても定員を満たしている場合、日中の利用先がなく社会参加の範囲が狭まってしまう。その問題点を解消し、日中活動の場を提供する意味でも有効な事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 自己負担額について、現状ではサービス利用における実費負担のみであるが、平成15年度からの支援費制度への移行に伴い、どう対応するのか検討する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 増加するニーズの中で、さらに充実していくことが求められる。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県の実綱で定められた基準に基づき事業を実施しているため、他自治体と大きな差異はない。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	在宅障害児者に日中活動の場を提供することにより、障害児者の自立と社会参加を図り、生きがいを高めることを目的とする事業であるため今後も必要とされる事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--